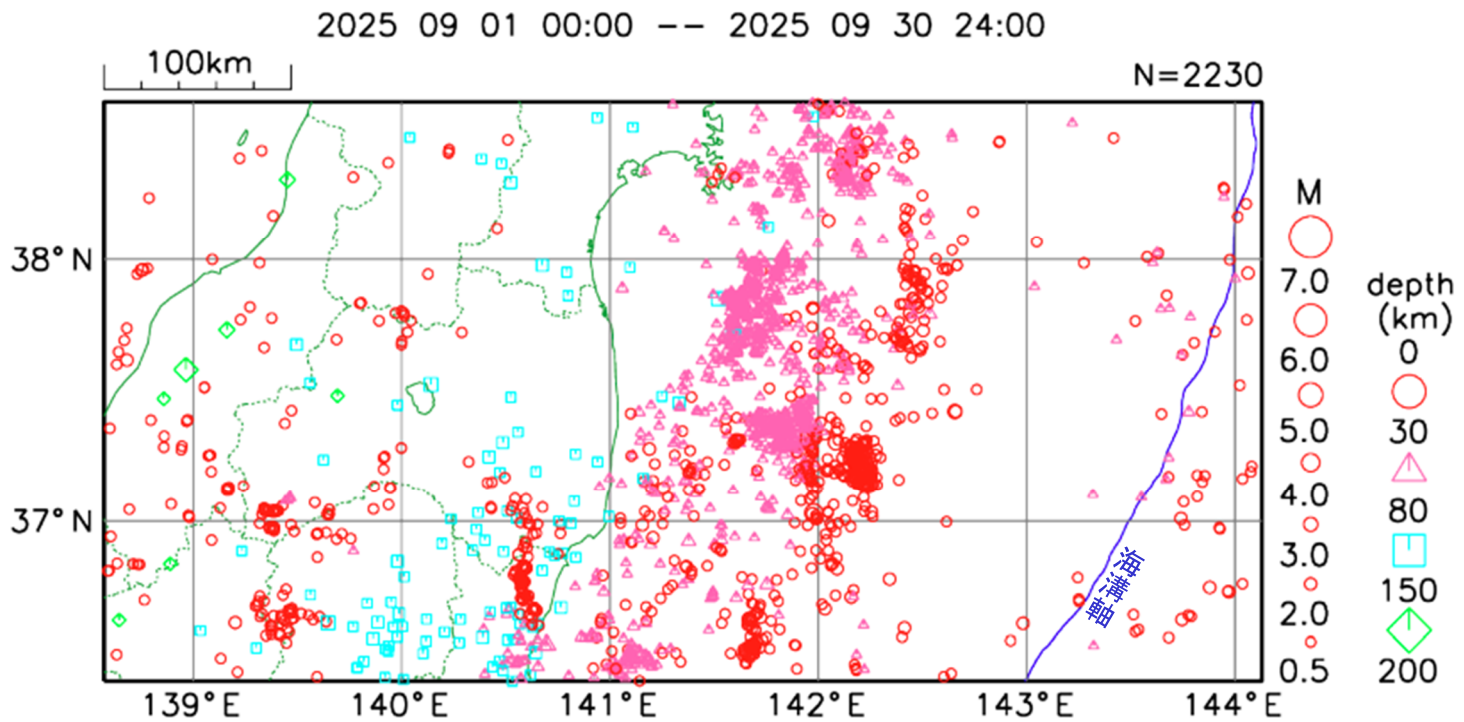


福島県月間地震概況

2025年（令和7年）9月

福島地方気象台

【震央分布図】



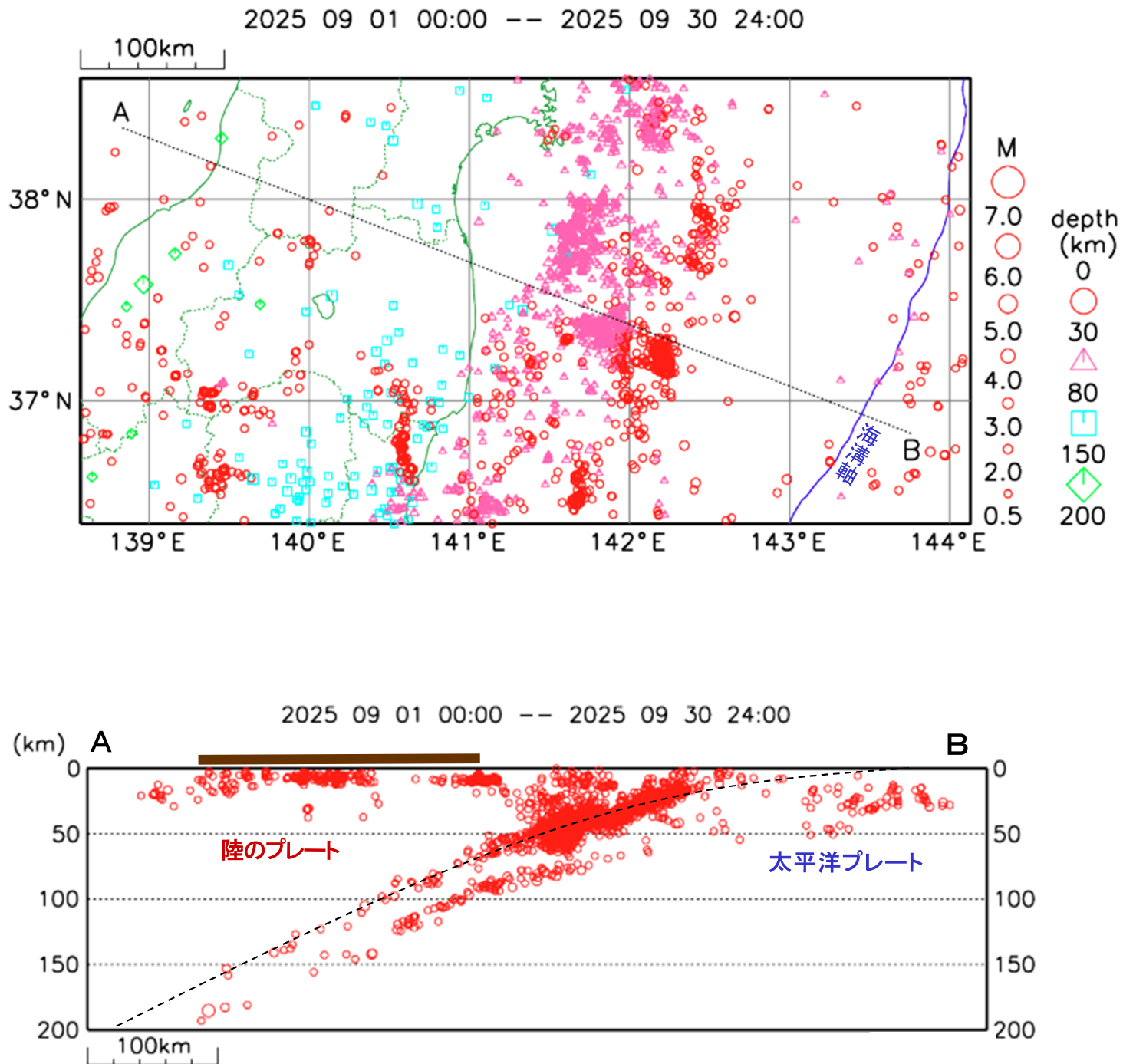
【概況】

9月に福島県内で震度3以上を観測した地震は0回（8月：4回）であった。また、福島県内で震度1以上を観測した地震は10回（8月：16回）であった。

今期間、特に目立った地震活動はなかった。

震度1以上を観測した地震における震度の詳細については、「福島県で震度1以上を観測した地震の表」を参照のこと。なお、震源要素等は、再調査により変更することがある。

【震央分布図（上）および断面図（下）】



断面図は、上の震央分布図内の震源を直線A－Bの鉛直面に投影したものである。

太平洋プレートの上面の位置(-----)は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

—— は、陸地の大まかな位置を示している。

海溝軸付近から沖合の地震の震源は深さの精度が十分でないものも含まれており、実際は浅いところ（深さ10km～30km）のものが多くと考えられる。

福島県で震度1以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2025年9月1日～2025年9月30日

発 震 時	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2025年09月03日13時27分	福島県会津	36° 57.7' N	139° 23.2' E	4km	M1.4
福島県	震度 1：檜枝岐村上河原＊				
2025年09月05日21時00分	茨城県南部	36° 04.0' N	139° 53.7' E	46km	M4.4
福島県	震度 2：白河市新白河＊, 白河市東＊, 白河市表郷＊, 白河市大信＊, 須賀川市岩瀬支所＊, 棚倉町棚倉中居野矢祭町東館＊, 玉川村小高＊				
	震度 1：郡山市朝日, 郡山市湖南町＊, 白河市郭内, 須賀川市八幡山＊, 須賀川市八幡町＊, 川俣町五百田＊, 鏡石町不時沼＊, 天栄村下松本＊, 天栄村湯本支所＊, 西郷村熊倉＊, 泉崎村泉崎＊, 矢吹町一本木＊, 矢祭町戸塚＊, 石川町長久保＊, 浅川町浅川＊, 古殿町松川横川, 古殿町松川新桑原＊, 小野町中通＊, 小野町小野新町＊, 田村市船引町, 田村市大越町＊, 田村市常葉町＊, 田村市都路町＊, 本宮市本宮＊, いわき市小名浜, いわき市三和町, いわき市錦町＊, 檜葉町北田＊, 川内村上川内早渡＊, 大熊町大川原＊, 下郷町塩生＊, 檜枝岐村上河原＊, 南会津町滝原＊, 南会津町松戸原＊				
2025年09月07日02時39分	福島県沖	37° 51.0' N	141° 31.1' E	86km	M3.7
福島県	震度 2：福島伊達市霊山町＊				
	震度 1：川俣町五百田＊, 玉川村小高＊, 小野町中通＊, 田村市船引町, 田村市常葉町＊, 田村市都路町＊, 大熊町大川原＊				
2025年09月08日23時04分	福島県沖	37° 01.8' N	141° 58.7' E	30km	M4.4
福島県	震度 1：郡山市湖南町＊, 白河市郭内, 白河市新白河＊, 天栄村下松本＊, 田村市船引町, 田村市常葉町＊				
2025年09月09日03時27分	福島県沖	37° 18.2' N	141° 36.9' E	42km	M3.8
福島県	震度 1：いわき市三和町, 大熊町大川原＊				
2025年09月11日01時49分	福島県沖	37° 42.5' N	141° 35.5' E	82km	M3.8
福島県	震度 1：白河市新白河＊, 須賀川市八幡山＊, いわき市三和町, 福島広野町下北迫大谷地原＊, 大熊町大川原＊				
2025年09月15日17時43分	福島県沖	36° 55.3' N	141° 22.6' E	48km	M3.9
福島県	震度 1：白河市新白河＊, 檜葉町北田＊				
2025年09月20日03時02分	茨城県沖	36° 13.3' N	141° 02.1' E	39km	M4.3
福島県	震度 1：白河市新白河＊, 棚倉町棚倉中居野				
2025年09月22日02時14分	茨城県沖	36° 36.1' N	140° 58.0' E	47km	M3.8
福島県	震度 1：白河市新白河＊, 矢祭町戸塚＊				
2025年09月29日23時33分	福島県沖	37° 45.5' N	141° 38.2' E	55km	M4.0
福島県	震度 1：相馬市中村＊				

(注)地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は福島県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

緊急地震速報の利用 ～11月5日に訓練を実施します！～

1 訓練を実施しましょう！

福島県では近年、令和3年2月13日にはM7.3の地震、令和4年3月16日にはM7.4の地震と2年続けて強い揺れを観測する地震が発生しました（いずれも震源は福島県沖）。これらの地震により、最大震度6強の揺れを観測し、大きな被害が生じました。このように、地震はいつ発生してもおかしくありません。

地震の揺れから身を守るためには、「緊急地震速報」を活用し、周囲の環境や状況に合わせて慌てずに行動することが必要です。緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごく僅かであり、その短時間に慌てずに身を守る等の適切な行動をとるためには日頃からの訓練が重要です。

そこで、国民の皆様実際に行動していただくため、11月5日10時00分頃から緊急地震速報の訓練を実施します。この訓練では、訓練の実施を計画している機関や団体等に対して、気象庁から訓練用の緊急地震速報（予報及び警報）を配信します。

- 緊急地震速報の訓練（令和7年11月5日）

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/eew/kunren/2025/kunren.html>

- 緊急地震速報（警報）及び（予報）について

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/shikumi/shousai.html>

2 訓練の方法

訓練参加機関（国の機関、地方公共団体、学校、民間企業等）が行う緊急地震速報の放送・報知にあわせて、シェイクアウト（①まず低く、②頭を守り、③動かない）や安全な場所に移動するなど、身の安全を守る行動訓練を行います。

テレビやラジオ、携帯電話の緊急速報メール／エリアメールで訓練用の緊急地震速報が放送又は報知されることはありませんが、自治体から防災メールや災害情報を受信するアプリ等を利用することで、独自に訓練を行うことができます。また、緊急地震速報がテレビで放送される場面を想定した訓練用の映像・教材を、気象庁のホームページで公開しています。ぜひご活用ください。

- 緊急地震速報を活用した訓練について（訓練の実施方法等も記載）

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/kunren.html>

- 緊急地震速報訓練を実施するための映像・教材など

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/kit.html>

- 日本シェイクアウト提唱会議 シェイクアウト訓練とは？

<https://www.shakeout.jp/about/>

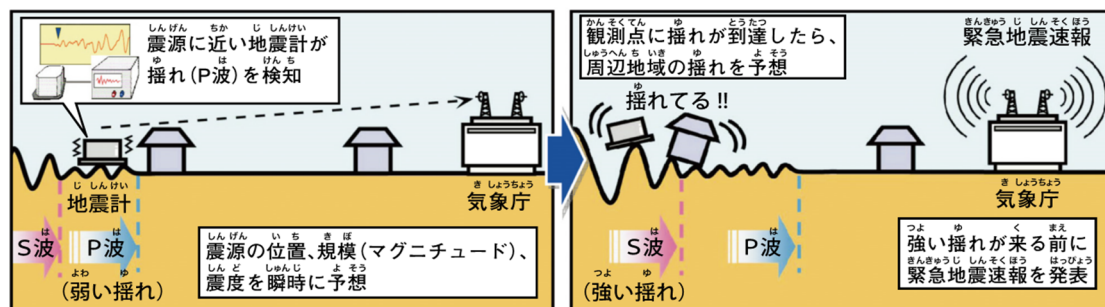


提供 日本シェイクアウト提唱会議

訓練参加機関が行う訓練の内容については訓練参加機関のホームページや広報誌などのお知らせをご確認いただき、積極的に訓練へご参加ください。

3 緊急地震速報のしくみ

地震が発生すると、震源からは揺れが波となって地面を伝わっていきます（地震波）。地震波にはP波（Primary「最初の」の頭文字）とS波（Secondary「二番目の」の頭文字）があり、P波の方がS波より速く伝わる性質があります。一方、強い揺れによる被害をもたらすのは主に後から伝わってくるS波です。この地震波の伝わる速度の差を利用して、先に伝わるP波を検知した段階でS波が伝わってくる前に危険が迫っていることを知らせることが可能になります。



4 緊急地震速報（警報）を見聞きしたときは

緊急地震速報は、情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。

地震の揺れを感じる前に緊急地震速報を見聞きした時も、緊急地震速報を見聞きする前に地震の揺れを感じた時も、行動内容は同じです。普段から、いざという時の行動を想定し、また家屋の耐震化や家具の固定を行うなど、地震に備えましょう。

まわりの人にも声をかけながら

あわてず、まず身の安全を!!

● 緊急地震速報の入手方法について

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/katsuyou/receive.html>

【行動の具体例】

屋内にいるとき	●家庭では - 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。 - あわてて外に飛び出さないでください。 - 無理に火を消そうとしないでください。	●人が大勢いる施設では - 施設の係員の指示に従ってください。 - 落ち着いて行動し、あわてて出口には走り出さないでください。
乗り物に乗っているとき	●自動車の運転中は - あわててスピードを落とさないでください。 - ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促してください。 - 急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとしてください。 - 大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止してください。 ●鉄道やバスなどに乗車中は - つり革や手すりにしっかりつかまってください。	●エレベーターでは 最寄りの階で停止させて、すぐに降りてください。
屋外にいるとき	●街中では - ブロック塀の倒壊等に注意してください。 - 看板や割れたガラスの落下に注意してください。 - 丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難してください。	●山やがけ付近では 落石やがけ崩れに注意してください。